

茶の里、白川も春風吹くと、新茶の季節



# 白川の風

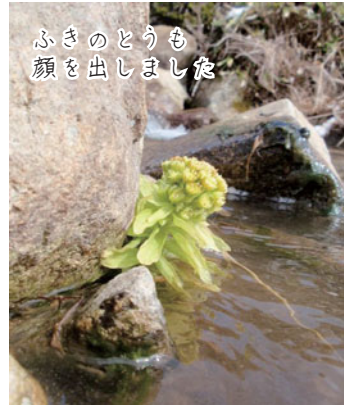
ますぶち園情報誌  
2015年春号 vol.52

春の日ざしを受けて冬の眠りから覚めた草花の緑が輝きを見せ始めました。そして茶畑では新茶に向けての作業がスタートしました！冬の間なまった体を少しずつ慣らしながら、皆で力を合わせて作業をすすめています。

今シーズンも皆様のご期待に応えるべくスタッフ一同がんばってまいりますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

## 茶畑日記

### うららかな春の訪れとともに 茶畑の作業が始まりました



長い冬の間眠っていた茶樹は春の陽気に誘われて動き始めます。徐々に動きが活発になるこの時期、まずはじめに行われるのが施肥です。この時期茶畑に肥料を散布すると雨の水分により溶け出した養分がゆっくり母枝に蓄積されます。そしてここから伸びる新芽の成長の基となります。

施肥に引き続いて春整枝が行われていますが、今年も厳しい寒さや雪の影響で茶樹の表面の葉が赤く変色しているところもあります。しかし、春整枝で表面を刈りそろえられた畝から深緑のきれいな茶畑になりつつあります。

そして毎年心配されるのは遅霜です。3月のぽかぽか陽気はここ白川では4月後半の寒波襲来の前触れとも言われ、私たち茶農家の、寒波だけはこないでほしい！と願う日々が5月上旬まで続きます・・・



一畝ごとに歩いて肥料を散布  
動力つきの散布機も活躍！！



冬の間枯れた葉を刈り  
落とすと、深緑色の親葉  
が出てきます

## 白川新芽会 で視察に行ってきました

三重県度会郡大紀町・九鬼産業さん  
三重県松阪市飯南町・深緑茶房さん

ますぶち園が中心となって白川地域のお茶生産者の皆さんと結成している「白川新芽会」で、去る3月17日三重県方面に視察に行ってきました。視察先はごま油粕を使用した有機肥料の製造をしている「九鬼産業」さんの工場と、先進的な茶の生産に取り組んでいらっしゃる「深緑茶房」さんです。

はじめに訪れた九鬼産業さんはごま製品のメーカーで、商品を製造する際にできるごま粕の有効活用として肥料の製造も手がけていらっしゃいます。鱒淵茶園でもこの肥料を使用しており、有用性は実証済みです！良質なお茶の育成には良質な肥料が欠かせません。よりおいしいお茶を生産してほしいという思いから、当会の生産者さんにも紹介をさせていただきました。

次に訪れた「深緑茶房」さんではJ-GAPという栽培管理手法を取り入れられ、安心して飲むことのできるお茶づくりに取り組まれています。さらに、直売店や喫茶店も展開され、消費者の皆さまへの直接販売にも積極的に取り組まれました。

今回の視察を通じて、お茶づくりに対する熱い想いを感じることができ、メンバー一同刺激を受けることができました。白川でも茶農家を取り巻く環境は厳しいけれど、これからももっとおいしいお茶づくりをしていく気力が湧いた1日でした。

